



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月6日

上場会社名 大陽日酸株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4091 URL <http://www.tn-sanso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田邊信司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報・IR部長 (氏名) 石川紀一 TEL 03-5788-8015
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	343,464	△1.4	19,071	△15.8	18,082	△18.9	△4,622	—
24年3月期第3四半期	348,464	△1.9	22,637	△14.9	22,292	△14.8	16,910	12.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △4,230百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 7,548百万円 (48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△11.65	—
24年3月期第3四半期	42.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	594,968	209,768	31.9
24年3月期	607,024	219,611	33.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 190,017百万円 24年3月期 200,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474,000	△0.7	26,300	△15.3	24,300	△18.3	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）Taiyo Nippon Sanso Singapore Pte.Ltd.、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	403,092,837株	24年3月期	403,092,837株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,240,293株	24年3月期	6,197,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	396,685,152株	24年3月期3Q	397,764,151株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)における世界経済は、債務危機長期化によるユーロ圏経済の低迷、米国経済の停滞、中国や新興国の成長鈍化等から、全般的に減速基調で推移しております。わが国経済情勢は、新政権の金融緩和や経済政策による景気回復への期待が高まってきたものの、円高とデフレ継続による停滞が続きました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,434億64百万円(前年同期比1.4%減少)、営業利益190億71百万円(同15.8%減少)、経常利益180億82百万円(同18.9%減少)となりました。また、純損益については、モノシランガス共同製造事業からの撤退に伴い約233億円の特別損失を計上したため、46億22百万円の純損失(前年同期は純利益169億10百万円)となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①産業ガス関連事業

主要ユーザーである鉄鋼産業が堅調な稼働率で推移したことや、自動車生産が好調であったことなどから、酸素・窒素の売上高は前年同期を若干上回りました。空気分離装置などの機械装置の売上高は前年同期を上回りましたが、溶断機器・材料は前年同期を下回りました。海外事業では、北米の売上高は緩やかな景気回復を背景に前年同期をやや上回り、また、アジア地域では、新規連結効果も加わって売上高は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、産業ガス関連事業の売上高は2,214億74百万円(前年同期比2.7%増加)、営業利益は168億57百万円(同0.3%増加)となりました。

②エレクトロニクス関連事業

エレクトロニクス産業向けは、半導体、液晶パネル、太陽電池等の需要低迷を反映し、低調に推移しました。電子材料ガス及び電子関連機器・工事の売上高も、前年同期を大幅に下回りました。半導体製造装置も、需要業界の設備投資低迷から前年同期を下回りました。

以上の結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は695億20百万円(前年同期比15.6%減少)、営業損失は5億52百万円(前年同期は営業利益40億29百万円)となりました。

③エネルギー関連事業

LPGガスは、売上数量は前年同期をやや下回ったものの、販売価格是正、コスト低減等に注力しました。

以上の結果、エネルギー関連事業の売上高は279億8百万円(前年同期比3.5%増加)、営業利益は11億11百万円(同23.6%増加)となりました。

④その他事業

メディカル関連事業では、機器・機材関連の売上げが好調に推移しました。サーモス事業は、超軽量コンパクト携帯マグやフードコンテナの販売が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は245億60百万円(前年同期比4.5%増加)、営業利益は25億46百万円(同32.6%増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,949億68百万円で、前連結会計年度末比で120億56百万円の減少となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ、USドルはほぼ同水準でしたが、東南アジア諸国の通貨が円安傾向により、約18億円多く表示されております。

[資産の部]

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は2,102億4百万円で、前連結会計年度末比で90億3百万円の減少となっております。仕掛品が32億38百万円、繰延税金資産が19億86百万円の増加の一方、現金及び預金が96億49百万円、受取手形及び売掛金が80億81百万円の減少となっております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は3,847億63百万円で、前連結会計年度末比で30億52百万円の減少となっております。有形固定資産が43億82百万円の増加、投資その他の資産が長期貸付金の減少等により57億23百万円の減少となっております。

[負債の部]

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,736億3百万円で、前連結会計年度末比で38億74百万円の増加となっております。短期借入金が165億16百万円の増加、商業ペーパーが60億円の増加の一方で、支払手形及び買掛金が40億46百万円の減少、1年内償還予定の社債が償還されたことにより100億円の減少となっております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は2,115億95百万円で、前連結会計年度末比で60億88百万円の減少となっております。当社における社債の発行により社債が100億円の増加の一方、長期借入金が97億93百万円の減少、繰延税金負債が48億13百万円の減少となっております。

[純資産の部]

利益剰余金は、93億87百万円の減少となっております。その他有価証券評価差額金は、主に当社が保有する上場有価証券の含み益の減少により8億14百万円減少し、36億18百万円となっております。為替換算調整勘定はマイナス376億34百万円、少数株主持分は197億51百万円となっております。

以上の結果、純資産の部の合計は2,097億68百万円となり、前連結会計年度末比で98億42百万円の減少となっております。

なお、自己資本比率は31.9%と前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低くなっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年4月23日に、連結子会社であるTaiyo Nippon Sanso Singapore Pte.Ltd.に対する増資の手続きが完了し、特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,596	24,947
受取手形及び売掛金	132,176	124,094
商品及び製品	23,462	22,287
仕掛品	7,827	11,066
原材料及び貯蔵品	6,439	7,981
繰延税金資産	5,216	7,202
その他	10,332	13,504
貸倒引当金	△842	△880
流動資産合計	219,208	210,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,190	54,886
機械装置及び運搬具（純額）	124,630	123,606
土地	35,522	35,986
リース資産（純額）	4,640	4,523
建設仮勘定	14,724	17,686
その他（純額）	21,791	23,193
有形固定資産合計	255,499	259,882
無形固定資産		
のれん	39,735	39,314
その他	16,376	15,086
無形固定資産合計	56,112	54,400
投資その他の資産		
投資有価証券	50,871	49,795
長期貸付金	5,103	499
前払年金費用	10,790	10,006
繰延税金資産	2,105	2,115
その他	9,089	9,544
投資等評価引当金	△865	△865
貸倒引当金	△889	△615
投資その他の資産合計	76,204	70,480
固定資産合計	387,816	384,763
資産合計	607,024	594,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,927	71,881
短期借入金	50,517	67,034
コマーシャル・ペーパー	—	6,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	5,242	2,204
引当金	3,428	1,809
その他	24,612	24,674
流動負債合計	169,729	173,603
固定負債		
社債	25,000	35,000
長期借入金	147,469	137,675
繰延税金負債	26,398	21,585
退職給付引当金	3,583	3,442
執行役員退職慰労引当金	505	515
役員退職慰労引当金	860	771
負ののれん	335	134
リース債務	6,030	5,578
その他	7,500	6,892
固定負債合計	217,683	211,595
負債合計	387,413	385,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,039	27,039
資本剰余金	44,909	44,909
利益剰余金	166,835	157,448
自己株式	△4,125	△5,099
株主資本合計	234,659	224,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,432	3,618
繰延ヘッジ損益	△26	△71
為替換算調整勘定	△38,035	△37,634
在外子会社の年金債務調整額	△193	△193
その他の包括利益累計額合計	△33,823	△34,280
少数株主持分	18,775	19,751
純資産合計	219,611	209,768
負債純資産合計	607,024	594,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	348,464	343,464
売上原価	231,747	230,952
売上総利益	116,716	112,511
販売費及び一般管理費	94,078	93,440
営業利益	22,637	19,071
営業外収益		
受取利息	149	98
受取配当金	782	730
負ののれん償却額	387	231
持分法による投資利益	1,009	1,016
その他	1,602	1,302
営業外収益合計	3,930	3,379
営業外費用		
支払利息	3,337	3,056
固定資産除却損	237	498
その他	700	813
営業外費用合計	4,275	4,368
経常利益	22,292	18,082
特別利益		
固定資産売却益	3,385	14
事業譲渡益	6,699	—
特別利益合計	10,084	14
特別損失		
固定資産売却損	4,623	—
投資有価証券評価損	310	97
事業整理損	—	23,276
減損損失	103	—
ゴルフ会員権評価損	24	60
災害による損失	443	—
特別損失合計	5,503	23,434
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,873	△5,337
法人税、住民税及び事業税	8,904	4,126
法人税等調整額	299	△5,780
法人税等合計	9,203	△1,653
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17,669	△3,684
少数株主利益	759	938
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,910	△4,622

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	17,669	△3,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,695	△816
繰延ヘッジ損益	△33	△44
為替換算調整勘定	△4,900	206
在外子会社の年金債務調整額	8	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△501	108
その他の包括利益合計	△10,121	△545
四半期包括利益	7,548	△4,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,593	△5,079
少数株主に係る四半期包括利益	954	849

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業ガス 関連事業	エレクトロニ クス関連事業	エネルギー 関連事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	215,633	82,362	26,971	23,496	348,464	—	348,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,619	56	1,886	2,003	5,566	△5,566	—
計	217,253	82,418	28,857	25,500	354,030	△5,566	348,464
セグメント利益 (営業利益)	16,811	4,029	898	1,920	23,659	△1,022	22,637

(注) 1. その他事業には、メディカル関連事業、サーモス事業、不動産事業等を含めております。

2. セグメント利益の調整額△1,022百万円には、セグメント間取引消去△130百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△891百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業ガス 関連事業	エレクトロニ クス関連事業	エネルギー 関連事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	221,474	69,520	27,908	24,560	343,464	—	343,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,233	111	1,417	1,964	4,726	△4,726	—
計	222,707	69,631	29,326	26,525	348,190	△4,726	343,464
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	16,857	△552	1,111	2,546	19,962	△891	19,071

(注) 1. その他事業には、メディカル関連事業、サーモス事業、不動産事業等を含めております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△891百万円には、セグメント間取引消去188百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,080百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。